

**令和 7 年度花巻市  
「地域連携型学校部活動・地域クラブ活動登録団体へのアンケート」  
「部活動に関するアンケート（中学校教職員）」調査の結果**

（令和 7 年 1 2 月）

**1 調査目的**

本市では、部活動の地域連携・地域移行の取組を開始して 3 年目を迎え、本年度は、11 月末時点で地域連携型学校部活動に 10 校（46 団体）、地域クラブ活動に 22 団体が登録して活動している。本市では、令和 7 年度末までに休日の部活動の地域連携・地域移行を目指していることから、今の取組が生徒のニーズに応じた活動の保障につながっているのか、また教師の負担軽減につながっているのかを検証しながら進めることで、来年度の取組に活かしたいと考えている。

今回の調査は、地域連携型学校部活動や地域クラブ活動に取り組んでいる学校や団体並びにスポーツ指導員や文化芸術指導員、また、部活動を担当している教職員を対象に実施し、部活動を取り巻く現状を把握するため実施することとした。

**2 調査対象及び調査人数**

・地域連携型学校部活動（管理職用）	10 校
・地域連携型学校部活動（顧問用）	45 人
・地域連携型学校部活動（スポーツ指導員・文化芸術指導員用）	24 人
・地域クラブ活動（団体用）	14 団体
・地域クラブ活動（スポーツ指導員用）	12 人
・部活動を担当している中学校教職員（講師を除く）	134 人

**3 調査期間**

令和 7 年 1 1 月 2 7 日（木）～1 2 月 1 2 日（金）

**4 実施期間**

花巻市教育委員会学校教育課

## 考 察

### 1 地域連携型学校部活動・地域クラブ活動登録団体や指導員へのアンケート

#### (1) 部活動の地域連携・地域移行は生徒のニーズに応じた活動保障になっているか

「学校部活動の地域連携・地域移行は、生徒のニーズに沿った活動を保障できる取組だと思いますか」の問いに対して、地域連携型学校部活動に取り組んでいる10校の管理職全て、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」に回答している。また、地域クラブ活動に取り組んでいる14団体のうち、12団体が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」に回答している。このことから、地域連携型学校部活動及び地域クラブ活動は、生徒のニーズに応じた活動保障につながっているものと思われる。

#### (2) 部活動の地域連携・地域移行は教員の負担軽減につながっているか

「学校部活動の地域連携・地域移行は、教職員の負担軽減につながる取組だと思いますか」の問いに対して、地域連携型学校部活動に取り組んでいる学校の管理職の6校は「そう思う」、4校が「どちらかといえばそう思う」に回答している。また、顧問に対して「学校部活動が地域連携型学校部活動に変わりましたが、休日の部活動に行く回数はどうになりましたか」「休日の部活動について負担はどうになりましたか」の問いに対して、どちらも7割強の教員が「減っている」または「少し減っている」に回答しており、負担が減っていると実感している。このことから、地域連携型学校部活動及び地域クラブ活動は、教職員の負担軽減に効果があると思われる。

#### (3) 部活動の地域連携・地域移行は生徒の活動の適正化につながっているか

「学校部活動の地域連携・地域移行は休養日や活動時間の基準の設定等を記載した『花巻市部活動等の在り方に関する方針』を遵守する、教職員の負担軽減につながる取組だと思いますか」の問いに対して、地域連携型学校部活動に取り組んでいる学校の管理職の5校は「そう思う」、5校が「どちらかといえばそう思う」に回答している。このことから、地域連携型学校部活動及び地域クラブ活動は、活動時間の適正化につながっていると思われる。

#### (4) 地域連携型学校部活動から地域クラブへの移行ができそうな部があるか。

地域連携型学校部活動から地域クラブへの移行できそうな部がありますかについて、9校が「ある」と回答しており、1校が「ない」と回答している。

また、地域移行が難しい理由として、「指導者がいないため」としている。このことから、今後も人材バンク等を開設しながら、指導者の確保に努める必要がある。

#### (5) 地域クラブ活動の団体登録の手続きについて

地域連携型学校部活動や地域クラブ活動の団体登録の手続きについて、「困ったり、大変だったりしたことがありましたか」の問いに対して、地域クラブの6団体が「あった」、8団体が「なかった」と回答している。半分以上の団体がなかったと回答しており、大きな不便さは感じなかったようである。既に登録している団体からの情報等により、登録申請に慣れてきたことが要因と考えられる。

困ったり、大変だったりした理由として、「パソコンがないと不便だった」という回答が2団体あったが、他の大きな理由はなかった。

## (6) 学校と地域クラブ団体及びスポーツ・文化芸術指導員との連携について

「学校部活動が地域連携型学校部活動に変わりましたが、指導員との連携は図られていますか」の問いに対して、82%の顧問が「連携が図られるようになった」と回答しており、16%の顧問が「変わらない」と回答している。また、地域連携型学校部活動のスポーツ・文化芸術指導員に「学校との連絡調整で困ったことがありましたか」の問いに対して、全員「なかった」と回答している。このことから、顧問と指導員の連絡調整については、うまくいっていると思われる。

一方、地域クラブと学校との連絡調整で困ったことがあったと回答した団体は3団体あり、理由として、複数の学校の生徒が所属していることで主体となっている学校との連携は取れるが、それ以外の学校との連携は難しいことをあげている。複数の学校が所属している地域クラブにおいては、各中学校の行事や感染症の状況が違うことから、予定を組むのが大変な様子が見える。

## (7) スポーツ・文化芸術指導員が子ども達を指導する中での不安なことについて

「子ども達を指導する中で不安なことは何ですか」の問いに対して、36人の地域連携型学校部活動と地域クラブのスポーツ・文化芸術指導員のうち、25人の指導員が「事故が発生した場合の対応」と回答している。次いで、「生徒指導に係る対応」(10人)、「保護者への連絡等の対応」(7人)となっている。

事故への対応や生徒指導に関わっては、役割分担を明確にしているが、それでも不安と感じている指導員が多いことから、学校も積極的に関わるのが大切と考える。

## (8) 来年度に向けての要望事項や改善事項について

今回のアンケートで、登録団体からは次のような要望が出されたので、来年度以降の検討事項とする。

- ①スポーツ・文化芸術指導員の謝礼額について増額してほしい。また、複数の指導員がいても1団体の上限が決まっているので1人1人の謝礼額が少なくなる。謝礼額の上限は、1団体ではなく指導員単位での上限額にしてほしい。
- ②現在、スポーツ・文化芸術指導員の謝礼額の上限を超えても活動時間等の報告をしているが、なくすことができないか検討してほしい。
- ③地域クラブの立ち上げに経費がかかる。経費の負担について検討して欲しい。
- ④地域クラブ団体が増えても活動場所の確保ができないと満足な活動ができない。学校部活動との兼ね合いもあるが、学校施設も含めて活動場所を確保してほしい。
- ⑤平日の活動場所への移動の手段について検討してほしい。
- ⑥教員でもスポーツ・文化芸術指導員ができることの周知を進めてほしい。また、各校での勤務時間、指導時間の柔軟な対応を検討してほしい。

## 2 地域連携型学校部活動に登録している部の顧問に対するアンケート (N=45)

### (1) 部活動に指導に行く回数や負担感について

「部活動が地域連携型学校部活動に変わりましたが、部活動に行く回数はどのようになりましたか」の問いに対して、「減った」「少し減った」と回答した教員が33人(74%)、「変化なし」と回答した教員が9人(20%)、「少し増えた」「増えた」と回答した教員が3人(6%)となっている。また、「部活動が地域連携型学校部活動に変わりましたが、部活動の負担についてどのよう

になりましたか」の問いに対して、「減った」「少し減った」と回答した教員が 33 人 (74%)、「変化なし」と回答した教員が 11 人 (24%)、「少し増えた」と回答した教員が 1 人 (2%) となっている。このことから、多くの顧問が行く回数や負担感が減っていることが分かる。

### (2) スポーツ・文化芸術指導員との連携について

「部活動が地域連携型学校部活動に変わりましたが、スポーツ・文化芸術指導員との連携は図られていますか」の問いに対して、「連携が図られるようになった」と回答した教員が 37 人 (82%)、「変わらない」と回答した教員が 7 人 (16%)、「連携しなくなった」と回答した教員が 1 人 (2%) となっている。このことから、指導者と顧問の連携が図られていることが分かる。

### (3) 教員の負担軽減につながる取り組みか

「学校部活動が地域連携型学校部活動に変わることは、教員の負担軽減につながると思うか」の問いに対して、「負担軽減になる」と回答した教員が 44 人 (98%)、「負担軽減にならない」と回答した教員が 1 人 (2%) となっている。このことから、部活動を地域連携型学校部活動に変える取り組みは、教員の負担軽減につながっていることが分かる。

## 3 部活動に関するアンケート（中学校教職員） (N = 134)

### (1) 顧問の専門性について

「現在（今年度）の部活動の担当」の問いに対して、「運動部主顧問」86 人 (64%)、「運動部副顧問」17 人 (13%)、「文化部主顧問」14 人 (10%)、「文化部副顧問」7 人 (5%)、「担当していない」(7%) となっている。昨年度は主顧問が 84%であったが、今年度は 74%と減っているが、これは学校の部活動から移行した地域クラブが増えてきたことによると考えられる。

また、「現在担当している部活動は、あなた自身が生徒・学生の時に所属・活動していた部活動でしたか」の問いに対して、はいと回答した教員は 47 人 (38%)、いいえと回答した教員は 77 人 (62%) であった。昨年度と同様 60%強の教員が経験していないと回答している。

ほとんどの教員が主顧問をしており、また、経験したことがない部活動の顧問になっていることから、顧問に専門的な指導を期待することは難しい。

### (2) 教員の部活動に対する負担感

教員の部活動に対する負担感について、令和 5 年、令和 6 年、令和 7 年と比較した結果は下表の通りである。

教員の負担感についての比較				
項目	回答	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
あなたの平日の時間外勤務における主な業務内容は何ですか（複数回答可）	授業準備	71%	75%	72%
	学級・生徒指導	47%	47%	49%
	校務分掌	75%	79%	74%
	部活動	67%	62%	60%
あなたが土日、学校外で取り組んでいる主な業務内容は何ですか（持ち帰り、部活動を含む）（複数回答可）	授業準備	65%	60%	66%
	学級・生徒指導	19%	11%	19%
	校務分掌	51%	48%	47%
	部活動	73%	78%	71%

項 目	回 答	令和5年	令和6年	令和7年
あなたが職務に対して負担を感じていることは何ですか（複数回答可）	教科指導	17%	13%	16%
	学級・生徒指導	19%	22%	28%
	部活動や大会参加等の指導	63%	57%	57%
	校務分掌	40%	40%	37%
	保護者対応	43%	44%	37%
	調査・報告	62%	51%	44%

これを見ると、「平日の主な業務内容」と「休日の主な業務内容」の問いに対して、部活動に占める割合が減っているが、職務に対しての負担感では、部活動や大会参加の指導と回答している割合は、昨年度同じであることから、負担を感じている教員が依然として多いことが分かる。

また、「平日の部活動の指導」や「休日の部活動の指導」で「ほとんど行っていない」と回答した教員は、それぞれ17%、16%となっており、昨年度とほとんど同じであった。

このことから、地域連携学校部活動に登録した部の顧問の負担感は減っているが、登録していない部の顧問の負担感は減っていない。

### （3）部活動に対する意識

「あなたは部活動の指導についてどう思いますか」の問いに対して、「やりがいがある」「どちらかといえばやりがいがある」と回答した教員は合わせて79人（59%）「どちらかといえばやりがいがない」「やりがいがない」が合わせて55人（41%）となっている。

しかし、「休日の部活動について、参加したいですか」の問いに対して、「参加したい」「どちらかといえば参加したい」と回答した教員が28%、「参加したくない」「どちらかといえば参加したくない」と回答した教員が72%となっている。また、「あなたは、部活動が地域のクラブに移行した際、兼職兼業の許可を得るなどして、指導に関わりたいと思いますか」の問いに対して、「兼職兼業して自身が指導に関わりたい」と回答した教員が15人（11%）、「兼職兼業を行うか迷っている」と回答した教員が30人（22%）、「兼職兼業を行うつもりはない」と回答した教員が89人（66%）となっている。

このことから、部活動の指導にやりがいがあると感じているが、休日の部活動に参加したい、兼職兼業の許可を受けて積極的に指導に関わりたいと考える教員は少ないことが分かる。

### （4）トラブルや事故等が起きたときの地域クラブと学校との連携について

「地域クラブ内でトラブルや事故が起きた場合に、対応の在り方としてどのように感じますか」の問いに対して、「主として地域クラブが解決すべきだが、必要に応じて学校と連携すべき」と回答した教員が96人（72%）と一番多く、次いで「全て地域クラブが解決すべき」と回答した教員が33人（25%）となっている。「常に学校と連携して解決すべき」と回答した教員は5人（4%）で一番少なくなっている。地域クラブに移行したとしても、学校が必要に応じて連携すべきと考えている教員が多いことが分かる。

### （5）花巻市が進める部活動の地域連携・地域移行について

「花巻市が進める部活動の地域連携・地域移行についてどのように考えますか」の問いに対して、「賛成」と回答した教員が131人（98%）、「反対」と回答した教員が3人（2%）となっている。このことから、ほとんどの教員が部活動の地域連携・地域移行に賛成していることが分かる。

「地域連携型学校部活動に登録した学校に対するアンケート」（学校用）（N＝10）

1 学校部活動の地域連携・地域移行は、生徒のニーズに沿った活動を保障できる取組だと思いますか。（1つ選択）

- そう思う 3
- どちらかといえばそう思う 7
- どちらかといえばそう思わない 0
- そう思わない 0

2 学校部活動の地域連携・地域移行は、教職員の負担軽減につながる取組だと思いますか。（1つ選択）

- そう思う 6
- どちらかといえばそう思う 4
- どちらかといえばそう思わない 0
- そう思わない 0

3 学校部活動の地域連携・地域移行は、休養日や活動時間の基準の設定等を記載した「花巻市部活動等の在り方に関する方針」を遵守させる取組だと思いますか。（1つ選択）

- そう思う 6
- どちらかといえばそう思う 4
- どちらかといえばそう思わない 0
- そう思わない 0

4 市では、地域連携型学校部活動から地域クラブへの移行を推進したいと考えていますが、移行できそうな部はありますか。ない場合、地域移行が難しいと思われる理由について書いてください。

- ある 9
- ない 1

・指導者がいないため。

・今のところ、活動日にかかわる事のできる指導者がいないこと。活動における費用負担がどのくらいかかるかわからないところ、等があげられています。

5 地域連携型学校部活動について、来年度に向けての要望事項や改善事項等があれば書いてください。

・各種大会等も、保護者引率ですべて参加できるようになるといいと思います。

・予算確保及び指導者確保

・中心校職員及び保護者・地域への周知"

・指導者への謝礼の増額

・地域クラブチームへの運営費の支援。

・ナイター照明の支援感謝いたします。

・活動費（用具代、保険代、旅費など）の補助があれば、地域クラブへの移行が期待できるかもしれません。"

・部活動顧問が、技術指導が可能であり、且つ外部コーチ（保護者を含む）も指導に当たる場合、地域連携型部活動に移行後も、同じ体制で運用するとき、顧問とコーチの指導日について整理して計画、活動を進める必要があること。

- ・土日の中学生対象の送迎ツール、せめて学校やバス停までの手段の検討をお願いしたい。
- ・部活動でさえ、土日の活動は、すべて保護者送迎が基本の生徒が多いです。"
- ・地域連携型の部活動等を推進したいと思います。そのための謝礼等の拡充をお願いします。
- ・スポーツ指導員の年間の活動時間（105時間）について、次年度以降、可能な範囲で増やしていただくとありがたいです。
- ・難しいかも知れませんが、指導者への謝礼の増額を少しずつでもできればありがたいと思います。また、謝礼が限度に達し、出なくなってからの活動時間の報告が必要かどうかを検討していただくとありがたいです。お金が出ないのに報告を求めるのが、心苦しいので。よろしくをお願いします。
- ・長期的な予定を教育委員会から出してほしいという意見が部活動指導者懇親会で指導者からありましたのでそれをお願いしたいです。

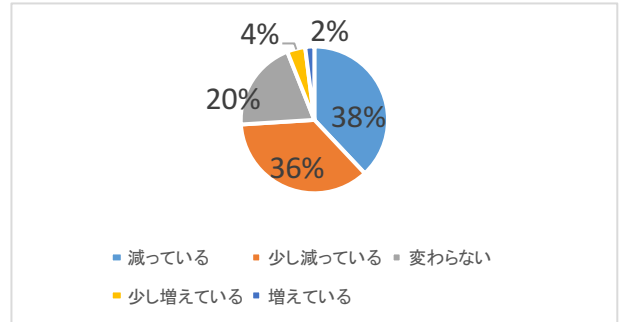
「地域連携型学校部活動に登録した学校に対するアンケート」

(顧問用 講師は除く) (N = 45)

1 学校部活動が地域連携型学校部活動に変わりましたが、部活動に行く回数はどうになりましたか。

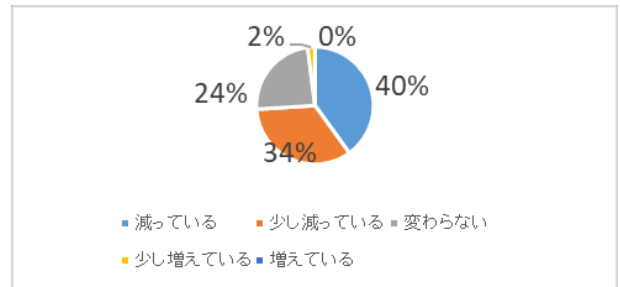
(1つ選択)

<input type="radio"/> 減っている	17	38%
<input type="radio"/> 少し減っている	16	36%
<input type="radio"/> 変わらない	9	20%
<input type="radio"/> 少し増えている	2	4%
<input type="radio"/> 増えている	1	2%



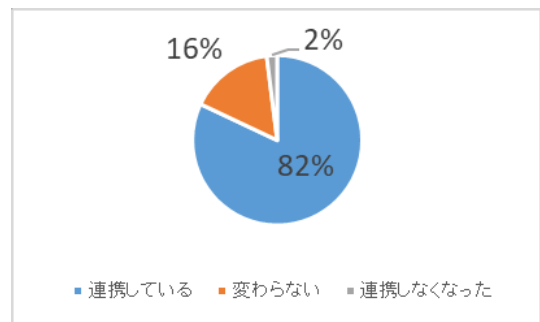
2 学校部活動が地域連携型学校部活動に変わりましたが、部活動について負担はどうになりましたか。(1つ選択)

<input type="radio"/> 減っている	18	40%
<input type="radio"/> 少し減っている	15	33%
<input type="radio"/> 変わらない	11	24%
<input type="radio"/> 少し増えている	1	2%
<input type="radio"/> 増えている	0	0%



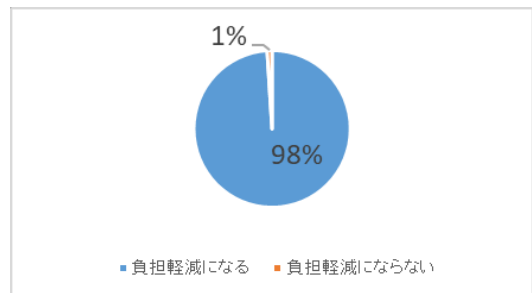
3 学校部活動が地域連携型学校部活動に変わりましたが、スポーツ指導員との連携は図られていますか。(1つ選択)

<input type="radio"/> 連携が図られるようになった	37	82%
<input type="radio"/> 変わらない	7	16%
<input type="radio"/> 連携が図られなくなった	1	2%



4 学校部活動が地域連携型学校部活動に変わりましたが、教員の負担軽減につながるものだと思いますか。(1つ選択)

<input type="radio"/> 負担軽減になる	44	98%
<input type="radio"/> 負担軽減にならない	1	2%



「地域連携型学校部活動に登録した学校に対するアンケート」

(スポーツ・文化芸術指導員用) (N=24)

1 学校部活動が「地域連携型学校部活動」に変わったことで、学校との連絡調整で困ったことがありましたか。(1つ選択)

- なかった 24
- あった 0

2 子ども達を指導する中でどのようなことが不安ですか。(複数選択+自由記述)

- 教職員(顧問)がいない中での実技指導 0
- 学校外での活動(中総体以外の大会・練習試合等)の引率 3
- 生徒指導に係る対応 6
- 事故が発生した場合の対応 18
- 保護者への連絡等の対応 5
- その他 ( )

- ・平日、顧問以外に指導できる保護者がいない
- ・部員数の低下
- ・指導の時間が作れなく、子どもたちの成長に役立てない

3 地域連携型学校部活動について、スポーツ・文化芸術指導員として来年度に向けての要望事項や改善事項があれば入力して下さい。

- ・要望や改善ではありませんが、吹奏楽部はどうしても練習場所の確保が難しく、学校の音楽室等を使用せざるを得ません。また、場所の確保ができて、今度は楽器の運搬の問題が出てきます。学校から切り離すことは、難しいと感じています。
- ・指導日誌 毎月報告が、たいへんです。
- ・部活動以外で保護者と意思疎通を図る機会をどう設けるか。
- ・上限時間、上限額を増やしていかないといけないと思います。
- ・備品購入の補助。(団体)がほしい。
- ・部活動を始める際の初期費用の補助。(個人)
- ・冬季練習場所の確保。(施設利用の割当て)
- ・活動に見合った報酬。
- ・学校の部活動もしくは地域のクラブチームでの部活動は必要と考えます。何も入らなくて良い選択を無くして欲しいです。
- ・現在は、従来の活動と同様の活動ができています。
- ・今後、完全移行(地域クラブ化)に向けた協議が進んでいくと思われるが、各学校によって対応がまちまちと感られるので、せめて、市内の中学校のどのクラブでも統一した対応となるよう検討をお願いしたい。完全移行にあたっての一番の懸念事項は経費面(大会参加料や学校からの部費等の支援)の負担がどのようになるのかである。
- ・部活動は強制で無くなったのは理解していますが、地域連携でも、部員不足は解消されていないのが事実です。周りの父兄さん子供達に聞くと、花巻地区の中学校によって新一年生の部活動の進め方に違いがあるようなので、中学校も部活動に対して進め方を考えて貰えたら、ありがたい。特に地域連携して部活動指導員が在籍している部活動は少しでも考えて貰えたらありがたいです。

- ・最低限、顧問が責任者としていないと運営は難しい
- ・指導する時間が限られているのに時間の制約が多すぎて満足に指導できないので、もう少し土日の練習等の時間が増えるといい。
- ・保護者会も強気に結びついていて困る事が無かったことと、顧問の先生が適切に指導しているので問題行動を起こすような子もいないので楽しく練習できたと思っています。三年生も主な大会が終わっても下級生の練習相手に参加して仲の良い部になっています。そこで思う事は、部活動は完全地域移行に向けて動き出していますが、今の学校から離れず、地域連携型が子供達にとって一番良い環境ではないかと思います。部活動が学校と離れていくことが本当に良い事なのか考えてほしいです。
- ・地域連携型学校部活動と地域移行したクラブ活動ではその練習時間に大きく差があり、同一競技で中総体や新人戦等の同一大会への出場は不公平感が漂う。生徒の希望があれば、地域連携学校部活動でも練習時間を増やしてほしいと感じる。
- ・特になのですが、部活の先生が、その部活をしてくれることは嬉しいですが、未経験であっても顧問をしている競技についてもっと知って欲しいです。例えば、審判など出来る様をお願いします。
- ・指導員の指導料を一人ずつの予算にしてほしい。

## 「地域クラブ団体に対するアンケート」（団体用）（N＝14）

1 学校部活動を地域のクラブが担うことは、生徒のニーズに応える活動を保障できる取組だと思いますか。（1つ選択）

- そう思う 6
- どちらかといえばそう思う 6
- どちらかといえばそう思わない 1
- そう思わない 1

2 地域クラブを教育委員会に登録する手続きについて、困ったり、大変だったことは何ですか。

- なかった 8
- あった 6

- ・花巻市以外の選手の登録について、そもそも教育委員会に申請する必要があることを知らない団体があるのではないのでしょうか？
- ・パソコンがないと不便だったりしてやり取りが大変だった。
- ・男女なので登録関係がややこしくて複雑であった。
- ・自分はパソコン関係が詳しくないので、事務局に負担をかけた。
- ・初めてのことであったので、不明な点があった。

3 地域クラブ団体を運営するにあたり、困ったり、大変だったことは何ですか。

- なかった 2
- あった 12

- ・各中学校の予定が、異なっていて、予定を組むのに大変なところがある。
- ・旅費・交通費が、学校登録と比べ、思うように出ない。
- ・活動場所の確保、指導者の確保、保護者への対応が大変だった。
- ・小学生男女、中学生男子が所属しておりますが、ルール等も違うことから活動は別に行っております。小学生は小学校の体育館を利用、中学生は市内の振興センター等の施設を利用しております。冬季などは小学生も体育館の利用が難しくなることから、中学生同様振興センターを利用する機会が増えます。しかし、同団体として扱われ、予約を断られることがしばしばあります。ルールなどの違いなどから一緒に活動が出来ないこと等、個別の活動であることを説明しても聞き入られてもらえず、練習場所の確保が出来ないといった場面があり、苦慮しています。
- ・違う中学校が集まるので、各学校の行事、感染症の流行などで、なかなか全員揃うのが難しい。
- ・練習場所の確保 2
- ・高額備品購入費用（タイマーなど）、指導者への謝礼金、遠征時の費用と安全確保
- ・資金的な問題が1番である。屋外スポーツの為、シーズン中の急な雨天時の時活動場所の確保ができず練習ができない。
- ・クラブ地域活動の責任の所在は誰が担うのか？
- ・国や県や市からの運営補助金や指導者への時給が発生しない事。
- ・ボランティア活動では今更誰も引き受けません。
- ・このままでは持続活動は確実に不可能です。
- ・生徒及び指導者の確保。

- ・運営費の確保（指導者に対する謝礼が少ない又は無い。1人はスポーツ指導員、他3名はボランティアである）。
- ・冬期間の体育施設の確保（花北地区社会体育館をもっと使用したいが月5回までの規定あり）。
- ・生徒の移動手段の確保（今後、花巻中、石鳥谷中、東和中等の他地域の生徒の入会が見込まれる）。
- ・人員の募集、確保
- ・運営全般
- ・今現在、湯口中、南城中、西南中で組織されていて、中体連の大会の時だけ、全体の引率をしています。普段の練習はそれぞれの中学校（湯口、南城）ごとに行っていますが、温度差があるように思います。
- ・競技団体にも登録する義務があったので、競技団体用の登録事務と中体連登録の関係で調整が難しい内容があった。

4 過日「学校、地域クラブとの意見交換会」で出された要望について回答を送付しました。これに関わって、またはこれ以外の要望事項や改善事項があれば書いて下さい。

丁寧にご回答いただき、ありがとうございました。

- ・前項の質問であげましたが、小学生や中学生、男女などの違いによりルールが異なるなど、カテゴリ毎に活動せざるを得ないスポーツにおいて団体名だけで施設の利用制限を受けてしまう現状を改善頂けないでしょうか
- ・持続可能な地域クラブにするには、とにかく『金・人・活動場所の提供』です。
- ・活動場所の紹介やクラブチームで使用するごとの理解を広めてもらいたい
- ・意見交換会での要望に対する回答ありがとうございました。検討中の事項については、できるだけ早期に解決策のご提案をお願いいたします。
- ・市教育委員会の地域クラブへの支援は大きいと思うが、中体連関係の地域クラブへの熱量が異なることが危惧される。中体連の考え方に合わせるような発想が言葉遣いにも影響している。

「地域クラブ団体に対するアンケート」（スポーツ・文化芸術指導員用）（N＝12）

1 地域クラブ活動において、学校との連絡調整で困ったことがありましたか。また、あった場合、どのようなことだったのかを書いてください。（1つ選択）

- なかった 9
- あった 3

- ・夏季休業中における学校閉庁期間の施設利用についてどうするか困った。
- ・学校側の部顧問との地域活動連携について温度があるようで選手選考など相談するにも気がつかれないといけないようです。
- ・主体となっている学校との連絡は、学校長及び副校長、顧問との面識があり練習計画に変更があった場合や大会出場に関する調整等がしやすいが、他校の関係者とは面識もなく担当者や体制がどうなっているかが分からず、父兄さん方を通じて学校行事等の確認をしなくてはならないため、時間もかかるし、内容がうまく伝わらないこともある。

2 地域クラブ活動を指導する中でどのようなことが不安ですか。また、その理由を具体的に書いてください。（複数選択＋自由記述）

- 教職員（顧問）がいない中での実技指導 1
- 学校外での活動（中総体以外の大会・練習試合等）の引率 3
- 生徒指導に係る対応 4
- 事故が発生した場合の対応 7
- 保護者への連絡等の対応 2
- その他 3

- ・大会申込みについて、期限までにまとめ、申し込みできるか。連絡が遅い保護者、選手がいる。
- ・活動場所が確保できない※冬季は外スポーツが体育館確保に入ってくるので；
- ・練習会場の確保

3 スポーツ・文化芸術指導員として来年度に向けての要望事項や改善事項等があれば書いてください。

- ・少しでも謝金があるとありがたい。
- ・団体ばかりが増えても活動場所の確保ができないと満足な活動はできないのではないのでしょうか？
- ・過渡期であることは重々承知していますが、平日の活動時間はだいたい重なっているので、団体を増やしていきたいのであれば部活自体も本当に無くさないが無理じゃないのでしょうか？
- ・スポーツ・文化芸術指導員への謝金を複数人にしていただきたい。
- ・継続して地域連携の活動が十分発揮できるようご支援やご指導願いたい。
- ・〈市内中学校のテスト期間や行事等の統一〉  
地域クラブは、自分のやりたかった競技や興味を持ったものに取り組める環境としてはいいと思うが、各学校の行事や代休、テスト期間等の関係で練習計画や練習試合等の調整が難しい。
- ・〈生徒の練習場所への移動手段〉  
生徒だけで練習場所への移動が困難で親が送迎しなければならないが、仕事の都合で送迎できない家庭もある。公共交通機関の利用についても、必ずしも自宅エリアから練習エリアに向かう交通機関があるわけではないし、練習時間に間に合うだけの本数が走っていないのが現状。スクールバスやタクシー、送迎車についての検討をお願いしたい。

・〈確実な練習場所の確保〉

外競技は部活動として活動していた時に比べると、雨天時や冬期間の練習場所の確保が困難になった。また、全員が参加できるよう練習開始時刻を17時から18時に遅らせると、学校施設（体育館）は19時以降一般の方々に貸し出しているため利用できない状態であるため、学校施設は地域クラブでの利用を優先し一般への貸し出しは20時以降でお願いしたい。

練習場所への移動についても、多くの道具運搬が必要となるため、ある程度、決まった場所で活動できるほうが指導者や関係者の負担が少なく済むと思う。

・〈地域クラブの紹介・周知〉

各小学校への地域クラブの活動内容の紹介・周知を早めをお願いしたい。

また、私達、団体関係者が各小学校を訪問し説明するにも仕事や小学校との調整は難しい。

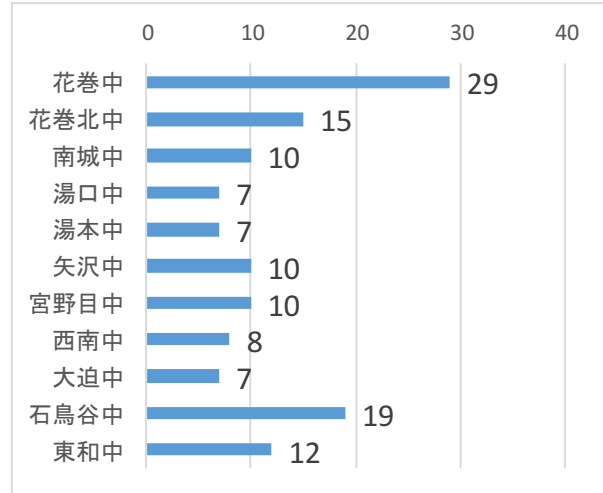
- ・今年度で当クラブの中学生が卒業となり一旦休部となりますが、新たに参加希望者が入って来た時に備え準備を整えております。とにかく参加希望者が来てくれることを祈っております。
- ・引き続き、教員でもスポーツ指導員ができることの理解を広めてもらいたい。勤務時間、指導時間の柔軟な対応もお願いしたい。

令和7年度花巻市「部活動に関するア校長アンケート」結果  
 (部活動を担当している中学校教職員(講師を除く))

N = 134

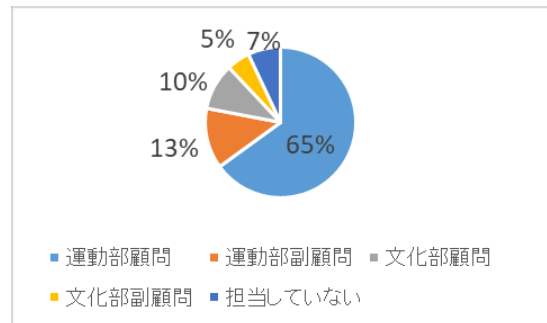
1 あなたが在籍している中学校を選んでください。(1つ選択)

- 01 花巻中学校 29 (人)
- 02 花巻北中学校 15
- 03 南城中学校 10
- 04 湯口中学校 7
- 05 湯本中学校 7
- 06 矢沢中学校 10
- 07 宮野目中学校 10
- 08 西南中学校 8
- 09 大迫中学校 7
- 10 石鳥谷中学校 19
- 11 東和中学校 12



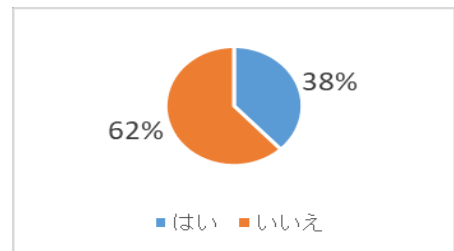
2 今年度担当する部活は何ですか。(1つ選択)

- 運動部主顧問 86人 73%
- 運動部副顧問 17人 10%
- 文化部主顧問 14人 12%
- 文化部副顧問 7人 4%
- 担当していない 10人 1%



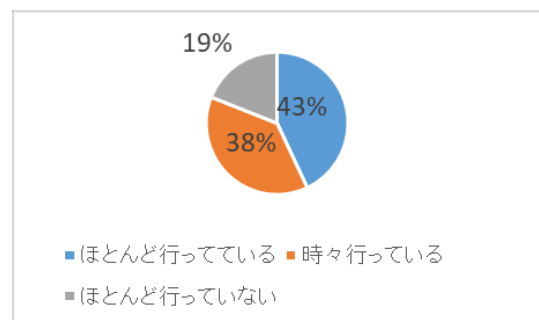
3 現在担当している部活動は、あなた自身が生徒・学生の時に所属・活動していた部活動でしたか。(1つ選択)

- はい 47人 38%
- いいえ 77人 62%



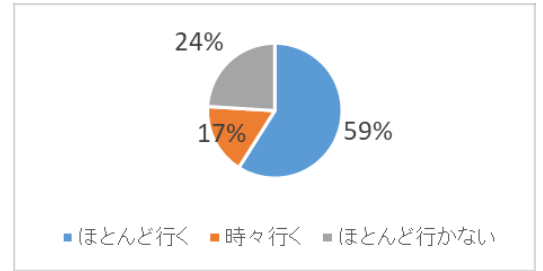
4 あなたは、会議等がない場合、平日の部活動の指導に行っていますか。(1つ選択)

- ほとんど行っている 58人 43%
- 時々行っている 51人 38%
- ほとんど行っていない 25人 19%



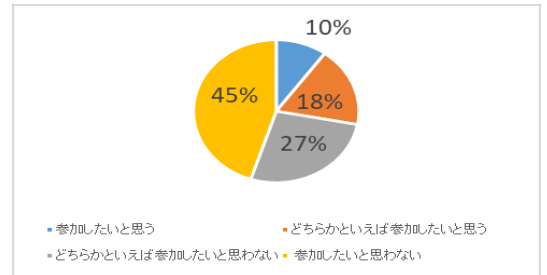
5 あなたは、休日の部活動に行っていますか。（1つ選択）

- ほとんど行っている 79人 59%
- 時々行っている 23人 17%
- ほとんど行っていない 32人 24%



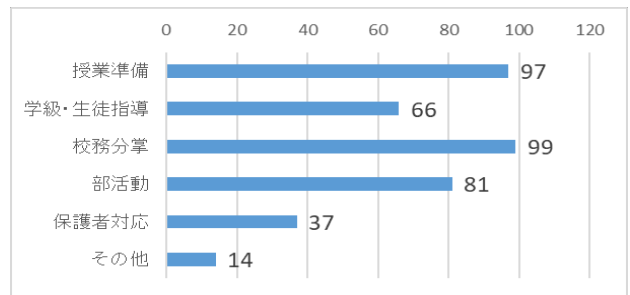
6 休日の部活動について、あなたは参加したいですか。（1つ選択）

- 参加したいと思う 14人 10%
- どちらかといえば参加したい 24人 18%
- どちらかといえば参加したくない 36人 27%
- 参加したくない 60人 45%



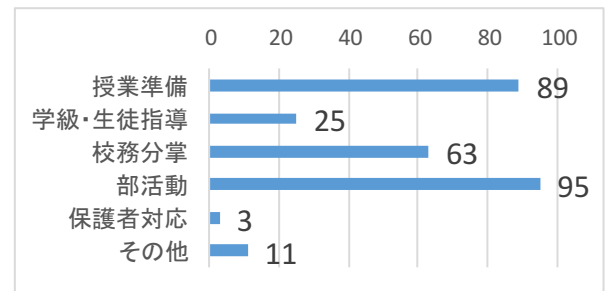
7 あなたの平日の時間外勤務における主な業務内容は何ですか。（複数回答可）

- 授業準備 97人
- 学級・生徒指導 66人
- 校務分掌 99人
- 部活動 81人
- 保護者対応 37人
- その他 14人



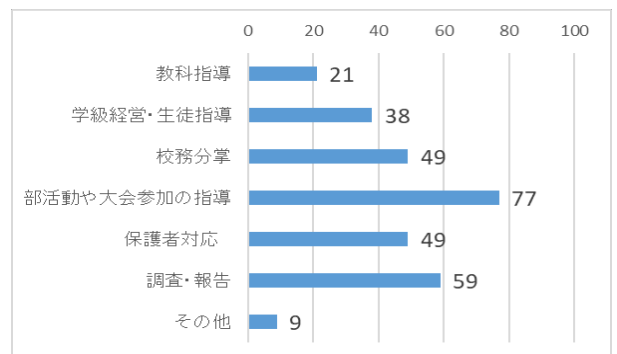
8 あなたが、土日学校外で取り組んでいる主な業務内容は何ですか（持ち帰り、部活動を含む）。（複数回答可）

- 授業準備 89人
- 学級・生徒指導 25人
- 校務分掌 63人
- 部活動 95人
- 保護者対応 3人
- その他 11人



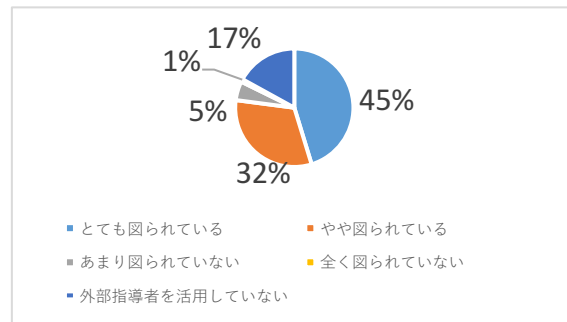
9 あなた、が職務に対して負担に感じていることは何ですか。（複数回答可）

- 教科指導 21人
- 学級・生徒指導 38人
- 部活動や大会参加の指導 77人
- 校務分掌 49人
- 保護者対応 49人
- 調査・報告 59人
- その他 9人



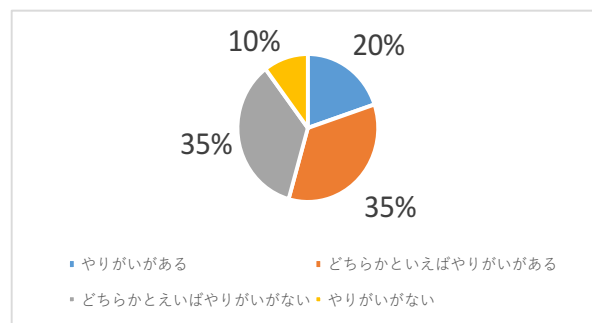
10 あなたの担当している部活動は、外部指導者との連携は図られていますか。（1つ選択）

- とても図られている 82人 45%
- やや図られている 24人 32%
- あまり図られていない 4人 5%
- 全く図られていない 2人 1%
- 外部指導者を活用していない 22人 17%



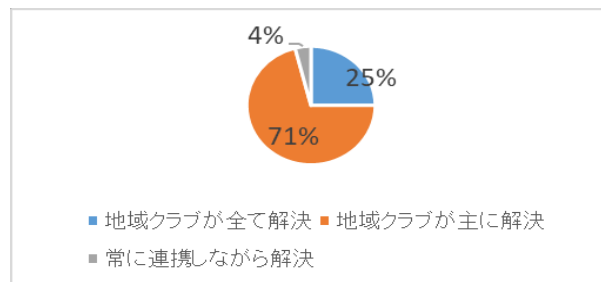
11 あなたは、部活動の指導についてどう思いますか。（1つ選択）

- やりがいがある 31人 23%
- どちらかといえばやりがいがある 48人 36%
- どちらかといえばやりがいがない 35人 26%
- やりがいがない 22人 15%



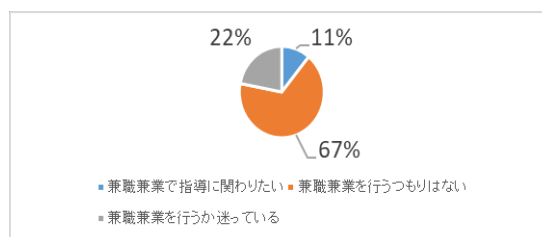
12 学校部活動から地域クラブへの移行が進められていますが、地域クラブ内でトラブルや事故が起きた場合に、対応の在り方としてどのように考えますか

- 地域クラブが全て解決すべき 33人 25%
- 地域クラブが主に解決すべきだが、必要に応じて学校も連携して取り組むべき 96人 72%
- 常に学校と連携しながら解決すべき 5人 4%



13 あなたは、部活動が地域のクラブ等に移行した際、兼職兼業の許可を得るなどして、指導に関わりたいと思いますか。（1つ選択）

- 兼職兼業で自身が指導に関わりたい 15人 11%
- 兼職兼業を行うつもりはない 89人 67%
- 兼職兼業を行うか迷っている 30人 22%



14 花巻市では、地域の子どもは学校を含めた地域で育てることを目標に学校部活動の地域連携・移行を推進しています。このことについてどのように考えますか。

- 賛成である 131人 98%
- 反対である 3人 2%

